

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		こども若者政策課
	02	01	01	01	01	

政策
少子化対策の推進

政策の内容

国の施策と連動した取組のほか、地域のニーズ・実情等を踏まえた効果的な対策を、幅広い分野が連携し、全庁を挙げて推進します。
結婚を希望する方への出会いの機会の創出や、結婚に伴う新生活のスタートを支援します。
若い世代に対してライフプランを描くための取組を実施することで、結婚・妊娠・出産に対して前向きに考えることができる気運を醸成します。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
子育て支援の充実	あなたの暮らしている地域では、子育て支援が手厚いと感じますか。	2.65					

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

・少子化は、雇用や所得の不安、出会いの機会の減少などから結婚したいができない、仕事か子育てかの選択を迫られるなど両立が難しい、出産を希望しているが妊娠に結びつかない、経済的な負担や心身の負担から第2子、第3子を持つことをためらうなど、様々な要因が複雑に絡み合っている。
・特に、若い世代が雇用や所得への不安から、将来展望を描けない状況にあることは、未婚化・晩婚化にも大きな影響を与えており、地方においては若い女性が活躍できる環境の整備など、雇用や働き方の改革は最も重要である。
・若い世代の誰もが、結婚や、子どもを生み、育てたいと希望を持つことができ、その希望が叶えられる社会を作らない限り、少子化の傾向を反転することは叶わないため、若者や子育て世代が、未来に希望を感じられるよう、まち・ひと・しごとの創生に一体的・総合的に取り組む必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	79,634				
決算					

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	1.2				
会計年度任用職員	0.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
地域少子化対策 強化事業	<p>結婚新生活支援事業(補助金) 婚姻に伴う新生活の経済的不安を軽減するため、新婚世帯に対し新生活にかかる費用を助成する。 (住宅取得費用・リフォーム費用・住宅賃借費用・引越し費用)</p>	79,634
	<p>結婚支援事業 1 婚活イベント 若者の興味を引く体験型イベントやマッチングイベントを開催し、出会いの場を提供する。 (メタバース空間を活用したイベント スポーツを通じたイベント 会食交流等のイベント) 2 マリッジサポーターによるアフターフォロー 出会いから結婚に至るまでの過程において、イベント参加者のフォロー及びイベント終了後の相談に応じる。 3 親の婚活セミナー・交流会 独身の子を持つ親を対象とした婚活セミナー・交流会を開催する。</p>	
	<p>ふじのくに出会いサポートセンター利用登録料助成事業 静岡県との連携事業である「ふじのくに出会いサポートセンター」への会員登録を行った方に対し、センターの利用登録料の一部を助成することで、結婚を希望する男女の未婚化及び晩婚化の抑制を図る。</p>	
	<p>ライフデザインセミナー 大学生、新社会人及び新婚世帯等の若い世代を対象に、ライフデザインを考える機会を提供し、結婚や子どもを持つことに対する不安を軽減し、自身の自己実現に対しての意欲を高めるセミナーを開催する。</p>	
	<p>家族形成意識の醸成講座 ライフプランを考える機会となるよう、統計に基づいた少子化等の実情を知り、未来の自分の結婚・妊娠・出産について考え、ライフプランシートを使い将来をイメージする講座を開催する。</p>	

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
イベントの参加者数(人)	婚活イベントへの参加者数	公的な婚活イベントの参加者を増やし、出会いの機会を提供する。	目標値	-	290	300	300	300	300
			実績値	254					
			達成率	-					
助成世帯数(世帯)	結婚新生活支援事業の助成世帯数	助成世帯数を増やすことで、結婚を希望する若い世代の経済的負担の軽減を図る。	目標値	-	150	150	150	150	150
			実績値	148					
			達成率	-					
講座開催数(回)	家族形成意識の醸成講座の開催回数	自分の結婚・妊娠・出産について考える機会を増やし、将来の不安を解消する。	目標値	-	8	9	10	11	12
			実績値	8					
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
マッチング数(件)	婚活イベントでのマッチング数	婚活イベントの主な目的はカップル形成であり、マッチング数は目的達成度を直接的に示す指標となる。また、イベントの内容や運営方法を変更した際、マッチング数の変化で効果を測定できる。	目標値	-	50	50	50	50	50
			実績値	44					
			達成率	-					
経済的不安の軽減に役立った人の割合(%)	結婚新生活補助金の助成を受けた方へのアンケート(「とても役立った」または「ある程度役立った」と回答した方の割合)	補助金が結婚を希望する若い世代の経済的負担を軽減することに役立ったかを測る。	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	96.6					
			達成率	-					
講座内容の理解度(%)	家族形成意識の醸成講座の受講者のアンケート	講座の質や内容が受講者のニーズに合っているのかを確認する。	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	-					
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
合計特殊出生率	○	ひとりの女性が一生の間に 出産するこどもの人数 ※厚生労働省人口動態統計より、保健総務課にて毎 年度算出	実績値	1.35 (2022 年度)						1.51
			達成率	89%						
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

結婚や出産の希望が叶い少子化の傾向に歯止めがかかるとともに、安心して子どもを産み育てられる子育て環境が整っている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価時に記載</div>	

「②活動(アウトプット)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価時に記載</div>

「③短期成果(アウトカム)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	
----------	--

評価時に記載

2025年度の政策の評価と2027年度の方向性(2026年度記載)

評価時に記載